

「第14回紀伊半島三県議会交流会議」の概要は、次のとおりです。

- 1 開催日 令和2年7月17日(金曜日)
- 2 開催場所 「ホテルいとう」(和歌山県岩出市宮83)
- 3 参加者 奈良県議会 山本進章 議長及び県議会議員 計10名
三重県議会 日沖正信 議長及び県議会議員 計8名
和歌山県議会 岸本健 議長及び県議会議員 計10名
総計28名
- 4 合意内容 次のとおり、三県が協力の上、今後とも取り組んでいくことで合意した。

議題1:過疎地域の持続的な発展について

過疎地域が直面している人口減少や集落機能の低下などの様々な課題について、また、現行の「過疎地域自立促進特別措置法」が令和3年3月末に失効することから、過疎対策制度の存続に向けた要望活動等の状況について報告がなされた。さらに、これからの過疎地域をどのように維持・活性化していくかについて意見が出された。

三県で過疎地域の課題や施策に関する情報共有を図るとともに、現行法失効後の新たな過疎対策に係る制度の充実について、国に対し、要望を行っていくことで合意した。

議題2:大規模広域防災拠点の整備

南海トラフ地震や風水害などの大規模災害の発生に備え、三県の連携・協力体制の構築、災害発生時に救助・救援・輸送活動等の拠点となる広域防災拠点の整備、緊急輸送ルートの確保などについて意見が出された。

今後も、三県で情報を共有していくとともに、防災拠点の整備・活用、インフラの強化などの防災対策を推進していくため、必要な財源の確保などを国に要望していくことで合意した。